

目 次

理事長 山口 浩利 挨拶	1
<b>支援実績及び活動状況</b>	
1. 令和元年度地域中核企業創出・支援事業	3
1.1 北海道経済産業局委託事業	3
1.2 東北経済産業局委託事業	3
1.3 中部経済産業局委託事業	3
1.4 中国経済産業局委託事業	4
1.5 四国経済産業局委託事業	4
2. 北海道経済産業局委託事業	4
3. 東北経済産業局委託事業	5
4. 中部経済産業局委託事業	5
5. 四国経済産業局委託事業	6
6. 北海道中小企業団体中央会	6
7. 南東北3県中小企業団体中央会	7
8. 岡山県中小企業団体中央会	8
9. 四国4県中小企業団体中央会	8
10. 東北地区信用金庫協会	9
11. 金融機関（埼玉縣信用金庫・足利銀行・栃木信用金庫・城北信用金庫）	9
12. みやぎ産業振興機構	10
13. 仙台PJハンズオン型支援事業	11
14. 福島県石川町農泊推進事業	13
15. いわき産学官連携ネットワーク協会	14
16. 茨城県・日立地区産業支援センター	15
17. 鹿沼市	15
18. 埼玉県	16
19. リンカーズ	17
20. 川口市	17
21. 東京都産業交流展2019	18
22. 板橋区産業振興公社	19
23. 台東区	20
24. 5区合同ビジネスネット	21
25. モクコレ2019(東京都)	21

26.	川崎市	22
27.	静岡県（食の商談会）	22
28.	長野県テクノ財団	23
29.	岐阜県	23
30.	三重県産業支援センター	24
31.	岡山県産業振興財団	24
32.	STEP（四国経済産業局）	24
33.	四国 STEP — CNF	24
34.	徳島県	25
35.	かがわ産業支援財団	26
36.	佐賀県トライアル	27
37.	佐賀県取引拡大支援	28
 (経営支援NPOクラブ内のグループおよび研究会の活動報告)		
38.	海外展開支援グループ	28
39.	関西グループ	30
40.	講演会（次世代人材育成支援）グループ	30
41.	広報チーム	32
42.	ヘルスケア研究会	32
43.	エネルギー産業研究会	33
44.	IoT 研究会	34
45.	中小企業経営強化研究会	35
46.	事業承継支援チーム	36
47.	農産物・食品輸出研究会	37
48.	自然大災害復興支援	38
49.	補助金制度活用支援研究会	39
 平成31・令和元年度の活動概要（事務局報告）		
	1. 公的機関等からの受託契約実績	40
	2. 令和元年度支援実績	41
	3. 令和元年度4月以降の理事会での主な討議事項（対外事項のみ）	42
	4. 会員の現況（令和2年4月末現在）	42
 (編集後記)		
		42

## ご挨拶

理事長 山口 浩利



今や戦後最大の国難(背景は世界難)となったコロナ禍の収束時期の見通しが全く見えない中、足下の資金繰りや雇用の継続、事業の存続等々の緊急課題の対応で大わらわの中小企業・小規模企業の皆様のご心労ご苦勞に心よりお見舞い申し上げます。

同時に中小企業・小規模企業様の経営支援を標榜するNPO組織でありながら何ら組織的にご支援のお手伝いが出来ていないことの心苦しさをもどかしさと無力さを深く感じております。

感染収束の目処が立ち経済の復活再開活動に向けて事業の再構築を策定される機会に少しでも私共でお手伝いが出来る出番が回ってくることを会員一同心待ちに致しております。

以下、私共NPOクラブの第18期の活動についてご報告致します。

1. この18期は第三四半期までの活動はお陰様で規模的には期初の計画を上回りほぼ昨季ベースに近く、また内容領域的にはやや拮抗りをみせながら順調に推移してまいりましたが、最終の四半期で12月に武漢で発生した新型コロナウイルスの感染が諸外国へ急速な拮抗りを見せて、2月には日本でも企業活動の自粛が始まり展示会等のイベントへの参加が急速に落ち込みはじめ3月には展示会の中止が相次ぎ4月に入り政府、続いて主要自治体から不要不急の外出の自粛要請が発令されるに至りました。

幸いにして私共が委託された期末締め契約の履行は何とか完了にこぎつけることが出来ましたことをご報告し、あらためて皆様方のご支援ご協力に御礼を申し上げる次第です。

1-1：省庁、自治体、県中央会、商工会、金融機関、企業等の皆様からの約50余件の受託(直接又は二次契約)案件を中心とした収益事業は従来通り、中小・小規模企業の販路開拓やパートナー探しのマッチング支援、及び経営相談の範疇である生産性向上策や開発中の技術評価、企業内研修等でした。

1-2；今期の支援先の中小・小規模企業数は総数としては前期比の約10%増の1,070社となりなりましたが、紹介先企業の訪問マッチングと展示会場での招致企業との面談の回数としては、第4四半期の落ち込みが響いて、前期の数3,150回には届かず、約13%の減の2,800回となりました。受託総額としては前期にわずかに及びませんでした。2年連続1億円の大台に乗りました。

1-3；特筆事項としては関西地区在の会員発足5年目の昨4月10日に関西グループ事務所を開設し、関西地区に安定した活動の足跡を残して次年度以降の更なる発展と会員の増加や関西圏特有の案件増を期待しています。

1-4 非営利事業と位置付ける活動として大自然災害の被災地復興支援、例えば、農水産品の販路紹介や地区振興施策への応援、見舞金の寄付、等、また、次世代育成支援の事例としては、講師を学校に派遣する出前授業やセミナーやワークショップ、イベントでのブース開設等で機会を拡げています。

1-5 ; NPOクラブ自身のポテンシャルの向上のため内部勉強会も継続していきまして、ヘルスケア、エネルギー産業、新素材、IoT、今期は中小企業経営(質の向上)や農産物/加工食品の輸出振興等の研究会も立ち上げました。

\* \* <上記の各案件につきましては後出の案件毎の報告をご参照下さい>

## 2. 10年後のNPOクラブ

昨年6月、「10年後の当NPOクラブの活動内容は如何にあるべきか」と自問し、10年後の社会が、AIの利活用等による、車のEV化や自動化の結果による、又働き方改革による、功罪・効果等またその影響による社会環境や産業界、技術動向、商流等の変革を来すかを推定してNPOクラブの活動域や役割像を考えてみようという試みです。

対象とする課題としてはAIの利活用による影響度の考察からSDGs運動の取り組みまでと幅は広く次の例などが挙がっています。①農業の自動化・法人化 ②食の自給率UP ③農水産と工の連携 ④加工食品の輸出振興 ⑤環境CO<sub>2</sub>問題 ⑥ヘルスケア ⑦中小モノづくりの将来像、 ⑧車産業の将来、 ⑨日本のエネルギー政策、 ⑩防災インフラの見直し、⑪DXの動向、等々、加えて⑫次世代若者支援の展望等、10年間の大きな変革を推論する楽しさと、社会のニーズに役立つNPOクラブの支援の質の向上のために実現可能な推奨事項などがタスクチームからレポートされることを期待しています。

(ところが、これらの課題の中に不要不急なものがないか、優先すべきことが他にあるのではと、内部で議論になっています)

## 3. 国難ならぬ世界難の新型コロナウイルスの沈静化は果たして

今や世界中に拡がり、更に新たな国に拡がりつつある新型コロナウイルスのグローバルな沈静化・終息化の時期は全く予測が立っていません。国別/地域別に医療の設備や体制には大きな差異がある現実、未だ治療法(薬)やワクチンの開発時期が確約されていない実態からみると、分断して地域的に強権で閉じ込めても戸は立たぬはず、各国協力してコロナとの統一戦線を張らないとグローバルな世界の経済再開となる沈静化へと収斂する由もなく、一定の条件下で段階的な経済再活動は当然必要になるでしょうが此れも統一性がないままだとトライアンドエラーの愚を重ねるように思います。今の米中の自己中心勝手流の強権リーダーには一歩下がってもらい、WHOがリーダーシップをとって専門家のオープンな世界会議が開けないか、これは夢想でしょうか。

それとも最終集団免疫率が70%に達するか、治療薬やワクチンの開発の、いずれか早い方を待つことになるのでしょうか。

以上

## 支援実績及び活動状況

### 1. ≪令和元年度地域中核企業創出・支援事業≫

令和元年度地域中核企業ローカルイノベーション事業では、前年度までであったハンズオン事業がなくなりネットワーク事業一本になりました。

当クラブでは得意とするハンズオン事業がなくなったため直接公募案件はなくなりました。

ネットワーク事業では北海道、東北、中部、中国および四国の各経済産業局の事業で、各プロジェクトの事業管理機関から委託または外注として業務を受託し、それぞれコーディネーター、専門家として参加しました。

#### 1.1 北海道経済産業局委託事業

同局でのネットワーク事業では、(公財)北海道科学技術総合振興センターから「北海道発健康関連産業支援プラットフォームの構築と販路開拓支援」にコーディネーターとして受託し、展示会での販路開拓や、マッチング、また企業訪問による支援等、参加企業に対し助言支援をしました。

(内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。)

#### 1.2 東北経済産業局委託事業

同局のネットワーク事業では(株)ドウリサーチ研究所より「東北地域の医工連携環境の整備と企業課題」において、コーディネーターまたは専門家として事業計画立案、販路開拓などの支援をしました。

また(株)帝国データバンクから「東北航空機支援機関ネットワーク強化事業」に専門家として企業支援をしました。

#### 1.3 中部経済産業局委託事業

同局のネットワーク事業では公益財団法人三重県産業支援センターより「地域中核ヘルスケア企業群成長加速化事業」において、三重県の企業が開発した製品の医療現場における妥当性評価に関する支援業務を受託、六病院での看護師に評価を依頼し、製品のニーズなどが明らかになりました。



## 1.4 中国経済産業局委託事業

同局のハンズオン事業は昨平成 30 年度の「健康保持・福祉・医療分野向け筋力アシスト装具事業の育成・強化」で終了しました。

本年度は公益財団法人中国地域創造研究センターの「医療機器・ヘルスケア分野事業化支援ネットワーク（医の芽ネット）構築支援事業」に参画する中国 5 県のコーディネーターを対象とする研修会（令和 2 年 2 月 25 日開催）に参加し、事業化戦略支援の推進策、コーディネーターの役割推進等について講演しました。

また、事業評価に関わるワークショップを通して、事業者実態の見える化による支援方策の強化策等の有意な活動視点を共有しました。

（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載）



しまなみ海道

## 1.5 四国経済産業局委託事業

同局のネットワーク事業では、一般財団法人四国産業・技術振興センターより「高機能素材（セルロースナノファイバー（CNF）、炭素繊維、高機能紙等）活用産業創出・支援事業」に関し、前年に引き続き 3 名がコーディネーターに委嘱され、CNF に関しては市場調査、製品開発、新機能性素材に関しては販路開拓などを担当しました。

## 2. ≪北海道経済産業局委託事業≫

（北海道発健康関連産業支援プラットフォームの構築と販路開拓支援）

北海道経済産業局（北海道庁、札幌市、北海道科学技術総合振興センター）とは 3 年前から、お付き合いが始まりました。2019 年度は 2 つの展示会及び別件として、C 精工の開発した医療機器の薬事申請事業を支援しました。展示会における主たる支援は出展企業に対する企業招致活動と展示ブースの評価及びアドバイスです。

第 46 回国際福祉機器展（2019 年 9 月東京ビッグサイト）では北海道の出展企業 10 社に対して NPO クラブが招致した企業数は 16 社、マッチング面談件数は 47 件でした。

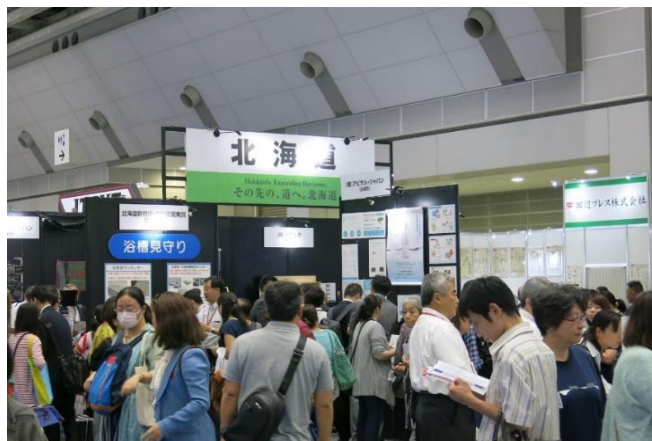
第 5 回ヘルスケア IT 展（2020 年 1 月東京ビッグサイト）では出展企業 9 社に対して招致企業数は 13 社、マッチング面談件数は 54 件でした。

いずれの展示会も期待された目標以上の招致企業数と面談数が確保されました。

また、展示会の後に出展企業と招致企業の間で商談成立による新規契約の動きが出ていると報告を聞いています。

更に、今年度は初の試みとして、希望する出展企業に対して、展示会終了後に NPO クラブのメンバーが現地訪問し、マッチング面談や展示ブースなどについて個別に協議するフォローアップ面談を企画しました。国際福祉機器展については 4 社（二人が 2 社ずつ）を訪問し、成果が得られたため、ヘルスケア IT 展後についても実施を予定されていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、訪問は中止となりました。また、同時期に参加予定していた北海道大学病院におけるニーズ発表会と北海道企業の開発支援プロジェクトも中止のやむなきに至りました。

一方、C精工の薬事申請支援については、途中から、NPOクラブ推薦の専門家も加わり、順調に推移しています。



### 3. ≪東北経済産業局委託事業≫

当NPOクラブでは本事業に関し支援管理機関の委託または外注の形で数件の事業支援に参りました。

平成 28 年度から継続している(株)ドウリサーチ研究所からの「東北地域の医工連携環境の整備と企業課題」では、当NPOクラブは支援管理機関のコーディネーターとしてヘルスケア研究会メンバーが中心になり複数の中核候補企業に対し、生産性向上に関する支援、事業計画の立案と PDCA の実際、薬事承認申請に係る支援および販路開拓支援などの業務を行いました。ここでは具体的に新規事業の開始や新たな顧客開拓に成功し、販売実績を上げることができました。

また(株)帝国データバンクの「東北航空機支援機関ネットワーク強化事業」では昨年の展示会支援の実績を基に、具体的な JISQ9100 に準拠生産体制整備に向けた企業支援を数度にわたり現地に赴き支援を行い、新規受注の準備をすることができました。



### 4. ≪中部経済産業局委託事業≫

NPOクラブでは公益財団法人三重県産業支援センターからの外注で三重県の企業が開発した製品の医療現場における評価に関する支援業務を受託しました。看護師教育に使用される製品をはじめとした2製品を、東京を中心とする6病院で看護師に評価して頂きました。

そこでは評価とともに実際に使用される現場からの製品に対する具体的な感想やアドバイス、また製品の必要性とその実現についての強い想いを戴き、開発する企業には非常に貴重な情報であると確信しました。

## 5. ≪四国経済産業局≫

★四国経済産業局事業（四国産業・技術振興センターより受託）

「四国地域知財マッチング推進事業」

四国経済産業局四国地域知財マッチング推進事業として、四国企業8社について9月～11月に企業訪問を行い、保有技術のライバル企業との長短の比較評価や紹介先についての修正などを行い、PR資料の作成支援を行いました。また、11月に、マッチング検討会議を行い、その確認に基づき、都市圏大手企業との個別マッチング活動を推進いたしました。個別マッチングの面談企業数は33社で、目標の32社以上を達成しました。その中で、面談企業との「継続可能性あり」は21社、「有望」が10社、不調が2社との結果であり、ミスマッチの割合は1割以下でした。



## 6. ≪北海道中小企業団体中央会≫

北海道中小企業団体中央会 「ビジネスマッチング」

北海道中小企業団体中央会が「2019年度ものづくり補助金交付事業者フォローアップ支援事業」として公募され、それに応募した企業に対してNPOクラブが、販路開拓等の支援を昨年度に引き続き実施しました。

具体的には、ものづくり補助金の交付を受けた事業者に対する販路開拓に向けた製品等のブラッシュアップや販売戦略等のアドバイスを行う「個別相談事業」と応募企業の中から選抜した企業に対する首都圏を中心としたマッチングを実施する「取引先開拓支援事業」です。

「個別相談事業」は応募した16社に対し、北海道中小企業団体中央会の会議室において、NPOクラブの専門家によるヒアリングを実施した結果、商談に持ち込める製品等を提供できる10社を選択しました。残る6社に対してはアドバイスシートを作成し、製品等ブラッシュアップのヒント等を助言致しました。

「開拓先支援事業」はNPOクラブ専門家が選択された10社の本社に出張し、社長面談、工場見学等を行い、顧客目線等から提案製品等の強みを端的に表現する「PRシート」の作成アドバイスや販路開拓先などの協議をする「ブラッシュアップ会議」を実施し、マッチングの準備を行いました。その後、NPOクラブ全会員に対し、適切なマッチング先の紹介を図りマッチングを実施しました。本年に入り猛威をふるっている新型コロナウイルスの影響もあり、本原稿脱稿までのマッチング実績は10社に対し延べ25回に留まっています。しかし、マッチング後NPOクラブが現時点で把握している範囲で、成約に至った案件、顧客ショールームに展示用の製品見本を提供した案件及び製品見本を納入した案件などの成果が早くも出ており、その他支援企業とNPOクラブ会員の間での個人的繋がり等から、新しい芽がいくつか出始めています。



## 7. ≪南東北3県中央会≫

掲題展示商談会へのニーズ企業を招致する事業を受託、実施した結果を纏めたので下記報告致します。

関係頂いた皆様のご協力、ご尽力に心から御礼申し上げます。

### (1) 展示商談会：

- ① 日時：2019年12月12日 午前10時 ～ 午後5時  
2019年12月13日 午前10時 ～ 午後3時
- ② 場所：大樹生命ホール 大手町野村ビル17階

### (2) 実施内容：

- ① 応募企業数：33社（3県合計、福島県10社、宮城県12社、山形県11社）  
応募企業とNPOクラブ会員とのブラッシュアップ面談により、展示企業を選出。
- ② 展示企業数：30社（3県合計、福島県9社、宮城県11社、山形県10社）
- ③ 来場招致、フォローアップ商談企業数：62社
- ④ 商談回数：163回
- ⑤ 来場者（但し、受付で名刺受領分のみ）  
人数：60名  
団体数：46社（官庁＝1、産業振興機構等＝4を含む、他は来場企業）

### (3) 同上商談報告書（NPOクラブ会員作成）：65通

県別 実績（注：招致企業数は重複記載。フォローアップは商談回数に含む）

南東北3県	応募企業数	出展企業数	招致企業数	商談回数
福島県	10	9	37	60
宮城県	12	11	31	49
山形県	11	10	39	54

### (4) グループ別実績（注：招致企業数は重複記載。フォローアップは商談回数に含む）

NPOクラブ 内グループ	応募企業数	出展企業数 (1社はA、Eで 重複支援)	招致企業数	商談回数
A	8	7	20	46
CD	16	16	34	86
E	9	8	22	35

## 8. ≪岡山県中小企業団体中央会≫

従来のような展示商談会に向けた企業マッチング支援事業は正式には受託できませんでした。従来が受託していた岡山県中小企業団体中央会単独事業から中国5県中小企業団体中央会合同の展示商談会支援事業に変更されましたが、岡山県内企業の参加はありませんでした。

なお、令和2年2月幕張メッセで開催の「機械要素技術展」中国5県合同出展ブースを訪問し、関係者との親交を深める事に努めました。

## 9. ≪四国4県中小企業団体中央会≫

掲題展示商談会へのニーズ企業を招致する事業を受託、実施した結果を纏めましたのでご報告致します。

関係頂いた皆様のご協力、ご尽力に心から御礼申し上げます。有難うございました。

尚、商談状況マトリックスと面談報告書は会員ポータルサイトにアップロードしています。

### 1). 展示商談会：

- ①日時：2019年11月21日 午前11時 ～ 午後5時  
2019年11月22日 午前9時 ～ 午後2時
- ②場所：大樹生命ホール 大手町野村ビル17階

### 2). 展示商談会：

- ①応募企業数：41社（4県合計、愛媛県12社、香川県11社、高知県10社、徳島県8社）

②応募企業から展示企業を選出：

③応募企業とNPOクラブ会員とのブラッシュアップ面談評価表

- ④展示企業数：37社（4県合計、愛媛県11社、香川県11社、高知県8社、徳島県7社）

⑤来場招致企業数：85社

⑥商談回数：202回（同上）

⑦来場者（但し、受付で名刺受領分のみ）人数：143名

団体数：103社（自治体＝7、全国中央会＝1、学校＝7校を含む、他は来場企業）

### 3). 同上商談報告書（NPOクラブ会員作成）：113通

NPOクラブ会員来訪者のブース訪問報告書：30通（同上）

### 4). 県別 実績（注：招致企業数は重複記載。フォローアップを含む）

四国4県	応募企業数	出展企業数	招致企業数	商談回数
愛媛県	12	11	38	54
香川県	11	11	44	66
高知県	10	8	38	46

徳島県	8	7	25	36
-----	---	---	----	----

5). グループ別 実績 (注: 招致企業数は重複記載。フォローアップを含む)

NPO グループ	応募企業数	出展企業数	招致企業数	商談回数
A	6	4	13	22
B	11	11	38	68
CD	14	13	43	78
E	10	9	33	50

## 10. <<東北地区信用金庫協会>>

今年で14回目を迎えるビジネスマッチ東北2019(東北最大のビジネス展示・商談会であり、503の企業・団体が参加)が2019年11月7日に仙台市の夢メッセみやぎで開催されました。

その期間に出展社・バイヤー間の個別商談会が同時開催され、首都圏バイヤー招聘した個別商談会にNPOクラブはものづくり企業4社を招聘し、出展社との20回の熱の入ったマッチングが行われました。

商談結果は、見積もり依頼・企業訪問等具体的な商談成立に向けた内容が豊富にあり、今後の成果が期待されます。

また、2020年度の展示・商談会はコロナウィルスの影響で開催時期が大幅に遅れる等予定がはっきりしませんが、開催されれば引き続き支援する予定です。



## 11. <<金融機関(埼玉縣信用金庫・足利銀行・栃木信用金庫・城北信用金庫)>>

### 【金融機関の支援活動】

#### (1) 埼玉縣信用金庫

埼玉縣信用金庫主催「さいしんビジネスフェア2019」(6月12日)がさいたまスーパーアリーナにて開催され、埼玉縣信金取引先を主体に埼玉県内外の260社が出展しました(隔年開催)。

NPOクラブは出展した工業系ものづくり企業を対象に大手・中堅の顧客企業(発注側企業)20社を招致し67回の個別商談を実施、商談には顧客企業を承知したNPOクラブ会員が立ち会い、商談のサポートおよびフォローアップを実施しました

商談会結果は「見積り依頼」、「具体的テーマ別途打合せ」、「図面提示・検討依頼」、「テーマを示し提案依頼」、「社内で検討評価しフィードバック」等次に繋がる可能性の高い商談が29件と全商談の43%を占めました。

この43%は商談時の要請や確認事項に確実に対応し、継続してコンタクトすることにより取引に繋がる可能性の高い商談です。NPOクラブより商談立ち合い記録を埼玉縣信用金庫に提供し、商談企業の事後フォローの実施をお願いしました。

## (2) 足利銀行

足利銀行主催「ものづくり企業 展示・商談会2019」(11月12日)が開催され、NPOクラブは出展した工業系ものづくり企業に対して顧客企業の招致および招致企業の商談立会・バックアップ等、商談内容の向上を目指した支援活動を実施しました。

この展示・商談会は、宇都宮市内の展示会場(マロニエプラザ)に足利銀行及び栃木県下金融機関の取引先である工業系ものづくり系企業200社が出展する地方中核都市開催としては大規模なものです。

NPOクラブとしては昨年に続き2回目の商談会支援でしたが、出展企業の事業内容を評価のうち大手・中堅の顧客企業16社を招致し76回の商談を実施しました。

商談会結果は図面提示・見積依頼等次に繋がる可能性の高い商談が48回と全商談の63%を占めました。

この63%は商談時の要請や確認事項に確実に対応し、継続してコンタクトすることにより取引に繋がる可能性の高い商談です。NPOクラブより商談立会記録を足利銀行に提供し、商談した企業の事後フォロー実施状況の確認とサポートをお願いしました。

## (3) 栃木信用金庫

顧客企業個別訪問の販路開拓支援「とちしんどリームマッチング2019」として、栃木信用金庫取引先企業から5社を評価選定し首都圏を主対象にした販路開拓支援を実施しました(食品関係2社、モノ作り系関係3社。但し1社は自社都合から途中辞退)。

NPOクラブ会員の支援企業現地訪問によるブラッシュアップ(技術・商品の特徴・強み確認、マッチング先要望確認等)、続いて顧客企業への同行訪問紹介(2回)を実施しました。食品関係では荷姿・ロット・L/T・詳細見積等、モノづくり系では図面・詳細見積、治具関係検討等具体的な内容で、支援企業から高い評価を得ております。

## (4) 城北信用金庫

城北信用金庫主催の「第8回 城北夢をかなえる商談会」(2月18日)での顧客企業招致・商談会支援の準備をすすめて開催を待つばかりにありました。

一方、新型コロナウイルス感染の急激な拡大により、会場で一堂に会しての商談会はウイルス感染のリスクが大きく危惧され、開催直前(2日前)に城北信用金庫が開催中止を決定しました。

残念ですが状況からやむを得ないもので、その後の急激な感染拡大からも正しい判断でありました。次回に向けて取り組んでいきます。